

とおちっ子

十市小学校だより第36号

令和7年2月5日

文責 藤川 尚司

はや2月になりました。3学期は日が過ぎるのが早く感じます。

さて、毎月第1月曜日には、地域の民生委員さんが子どもたちの登校を出迎えて、朝のあいさつをしてくれています。2月3日（月）にもご来校され、子どもたちに笑顔を届けてくださいました。とても寒い日が続く中、ありがとうございます。おかげさまで、今日も子どもたちは元気に登校しています。



火災避難訓練

1月28日（金）に、火災避難訓練を行いました。給食室から出火したという想定で、火元からできるだけ離れて、速やかに運動場へと避難する訓練です。

今回の避難訓練が、年間の大小合わせて10回目の訓練となります。子どもたちの訓練への参加の様子を見ると、回を重ねるごとに余計な指示を要しなくなり、円滑に、速やかな避難行動がとれるようになってきていると感じます。

今回は火災発生の想定でしたが、これまでの地震津波避難訓練同様に、スムーズな避難ができていたことに、訓練を重ねる意味が感じられました。

様々な災害は思わぬ形で不意に起きるものです。様々な状況に柔軟に対応できるようになることが大切だと思います。

今回の避難訓練では、地域の南国市消防団琴平分団の方にもご来校いただきました。運動場に避難後、消防団の方から一言いただいた後、水消火器を使って、消火訓練を行いました。

消火器の使用機会など無いに越したことはないのですが、いざという時の初期消火に消火器は欠かせません。代表児童による演示をみんなで見て、消火器の使用方法について学びました。

段取りを十分整えられず、消防団の方の放水活動などを十分にご紹介できませんでした。とても申し訳ない思いましたが、おかげさまで子どもたちに火災に対する心構えを伝える機会を設けることができました。紙面を借りて、ご協力に感謝いたします。



ひとこまその1

防災学習で勉強したことを、他の学年や先生方に紹介しようという計画を立てた3年生が、職員室を訪ねてくれました。

職員室チームは、教室の中の意外なところに防災上の危険があると、話してくれました。それは、机のわきにかかっている図書袋です。2本ある持ち手をきちんとひっかけずに、一方だけがかかった状態だと袋の口が開いてしまい、避難するときに足が引っ掛かる可能性があるとのこと。

と。だから、きちんとひっかけることが大切と提案してくれました。

なるほどなあ、と思いました。かねてから校内をあちこちめぐり、防災の学習を進めてきた3年生ならではの視点に感心しました。

ひとこまその2

恒例の「食育検定」を実施しました。給食や食料、食事のマナーに関する問題に、学年段階に沿って問題を用意しました。給食放送などで触れてきた食に関する問題ですから、必ずしも初めて触れる内容ではないのですが、あちらこちらから「忘れた…」「何やったっけ？」とのつぶやきがもれていました。

それでも、長く食育に取り組んだ十市小学校ならではの回答率で、検定合格者は半数を超えているのがさすがです。

